

川崎市立中央支援学校 訪問教育

(聖マリアンナ会 東横恵愛病院 内)

川崎市立中央支援学校 訪問教育って
どんなところ？



入院中の小学生・中学生に向け、愛院内に教室を作りました。

まずは、安心できる居場所や生きがいを感じてもらえるような空間・時間を提供したいと思っています。その上で、それと平行して各自の自立度アップと社会参加度アップをサポートし、前籍校を軸に復学支援をしていきます。

川崎市立中央支援学校 訪問教育目標

- ① 本人の不安や想いに寄り添いつつ、互いに伝え合える関係をめざす。
- ② 自己理解を含めて、自分に合った学び方を習得できるよう支援する。
- ③ 「学校の主役は子ども」を大切に、「わかった」「できた」「楽しい」等の体験の積み重ねを支援する。
- ④ 集団としての関わり方を見守り、自他ともに認め合う心を育む。
- ⑤ 医師をはじめ、病棟スタッフとの連携を密にとり、医療と教育との相乗効果をめざす。

川崎市立中央支援学校訪問部は、本校から教員を派遣して、東横恵愛病院に入院中の小学生・中学生を対象に、主治医と相談の上、学習に対する支援を行っています。支援の希望がある場合は、現在の学校から川崎市立中央支援学校に入学して頂くこととなります。退院する際には、中央支援学校を退学し、前籍校に学籍を移します。

訪問教育へ入学から退学（復学）までの流れ

